

## 国際シンポジウム「ちきゅう」による南海掘削 概要

### 1. 趣旨

地球深部探査船「ちきゅう」は、地震発生メカニズムの解明等を目的とし、熊野灘沖南海トラフにおいて、昨年9月から本年2月上旬まで科学掘削を行い、2月5日に新宮港に帰港します。

この機会に、南海トラフの全体像を判り易く紹介するとともに、この度の研究航海で得られた成果について皆様にいち早く報告し、地震防災に対する意識の向上に貢献することをめざしています。

### 2. 開催概要

(1) 時期：平成20年2月9日（土）9：00～15：00

(2) 場所：新宮市民会館（和歌山県新宮市新宮7696）

(3) 形式

○ 主催…独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）

○ 後援（予定）…内閣府（防災担当）、文部科学省、経済産業省、国土交通省、海上保安庁、和歌山県、新宮市

○ 英語による発表については、逐次通訳を配置。

(4) プログラム【案】

午前の部：総合報告

09:30～09:50 開会挨拶【主催・後援・来賓】

09:50～10:20 日本列島と南海トラフ：平朝彦理事(JAMSTEC)

10:20～10:50 南海トラフの海底地質構造：G. Moore (JAMSTEC)

10:50～11:00 休憩

11:00～11:30 南海トラフの海底地質：加藤幸弘（海上保安庁海洋情報部）

11:30～12:00 南海トラフのメタンハイドレート：佐伯龍男(JOGMEC)

12:00～13:00 昼食

午後の部：科学的成果報告

13:00～13:20 南海トラフ地震発生帯掘削について：倉本真一(JAMSTEC)

13:20～14:40 「ちきゅう」による掘削調査の成果概要：木下正高、D. Curewitz (JAMSTEC)、芦寿一郎（東大）、木村学（東大）

14:40～14:55 IODPにおける南海トラフ地震発生帯掘削：H. C. Larsen (IMI)

14:55～15:00 閉会挨拶【主催】

※ JOGMEC・・・独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

IODP・・・統合国際深海掘削計画

IMI・・・IODP国際計画管理法人